

読み聞かせを含めた図書の時間の流れを提案する

実施日 令和6年度

対象 小学1年～6年

目的・ねらい

- 教員と学校司書がともに図書の時間を組み立てる。
- 読み聞かせの楽しさを知らせることで、読書意欲を高める。

学校図書館活用のポイント

- 教員と学校司書が図書の時間の流れを共有する。
- 学校司書から児童へ絵本の紹介をする。
- 児童が絵本の棚の場所を知り、自分で本を探すきっかけ作りとなる。

必要なもの

- ☐ 図書の時間の過ごし方の掲示物

実践内容	物品	留意点
〈課題〉 読書に慣れていないため、図書の時間に座って文字を読めない児童が多かった。 〈相談〉 教員から学校司書へ、児童が読書の楽しさを感じるためにどのような方法があるか。また、読書に集中させるためにどのような対策があるかという相談があった。		
〈提案〉 改善策として「読書の楽しさを感じてもらうため、読み聞かせを実施したい。」と教員に提案した。 教員からの反応は様々だったが、読み聞かせに前向きな教員へは、読み聞かせの時間を確保するために、以下2点のような図書の時間の過ごし方を提案した。 ● 図書の時間の初めか終わりのタイミングで読み聞かせを行う ● 返却、貸出、1人読みなどの時間配分をし、読書に集中する時間を作る		
〈準備〉 ● 絵が多く文章が短めでわかりやすい内容の本を用意した。 ● 時間配分を考え、数冊準備した。		児童が集中できる時間を考えて選書する。
〈実践〉 ● 児童が学校図書館で落ち着いて過ごせるよう、学校生活に慣れてきた		教員が読み聞かせに前向きでない

頃に実施した。 ● 教員が読み聞かせに前向きな場合は、通常の読み聞かせ以外にも、学級の状況に合わせて、なぞかけやクイズなど、教員と児童と一緒に声を出して楽しむ工夫をした。 ● 読み聞かせを静かに聞いてもらえるように、声の大きさを変えるなど変化をつけて学級全体が読み聞かせに集中できるようにした。 ● 時間配分や児童の反応などから、次回の選書や読む冊数を決めた。 ● 読み聞かせが定着した学級には、図書の時間の過ごし方を書いた掲示物を学校図書館の壁に掲示し、以下の流れで図書の時間を過ごしてもらうようにした。 図書の時間の過ごし方 ① 担任と一緒に学校図書館へ移動 ② 始まりのあいさつ ③ 本の返却貸出 ④ 1人読み・調べ学習など ⑤ 読み聞かせ ⑥ 本棚の整理 ⑦ 机の上のごみ捨て ⑧ 椅子を入れる ⑨ 終わりのあいさつ ⑩ 担任と一緒に教室へ移動		場合は、学校司書と児童が1対1で読み聞かせる、読み聞かせの時間を短くする、隔週で行うなど、教員の意思を優先しつつ、できることから1つ1つ積み上げる。
〈結果／児童生徒・教職員の反応〉 教員 ● 読み聞かせの時間を考慮した、図書の時間の組み立てができた。 ● 一緒に読み聞かせを聞くことで、児童の様子を見ることができた。 ● 読み聞かせの良さを知り、教員も教室で読み聞かせを行うようになった。 児童 ● 読み聞かせの時間までの過ごし方(返却、貸出など)がスムーズになった。 ● 学校司書の声を通して物語を知り、読み聞かせを聞く楽しさを味わった。 ● 読み聞かせに使用した本を何度も読みに来る児童がいた。		